

(別紙1)

伊丹市創業支援事業 事業計画書

1. 創業者氏名(法人対象者・個人事業主となるものの氏名)および住所

フリガナ 氏名
連絡先(書類送付先) 〒 -
TEL (携帯)

2. 事業内容概要

法人名/屋号(予定可)
事業所所在地(予定可) 〒 - 伊丹市
【創業予定の方】 ●事業開始予定日 令和 年 月 日
【創業済の方】 ●法人設立日(※法人登記日) または開業日(※開業届に記載のある日) 令和 年 月 日
●事業開始日(※実際に営業を開始した日) 令和 年 月 日
資本金(法人の場合) 万円
業種 日本標準産業分類による中分類(分類番号: 業種名:)
創業動機・目的
事業コンセプト

3. 事業内容等詳細

1. 事業の詳細について

【主な商品・製品・サービスの内容等】

【ターゲット市場・顧客の動向・需要予測・マーケットの特徴・競合状況等】

【販売先・販売方法等】

【仕入先・仕入方法等】

【セールスポイント(独自性・競争優位性)】

【販促・広告方法等の集客方法】

2. 創業者のアピールポイント・つよみ(事業を立ち上げるにあたって役立つ経歴や経験・人脈等)

【経歴・経験】

【保有ノウハウ・資格・技術・特許等】

【人的ネットワーク】

【その他】

4. 資金調達計画について

必要な資金		金額(単位:円)	調達方法	金額(単位:円)
設備資金	(内訳) ・土地や建物、車両や機械の購入費 ・備品購入費 (PC・OA 機器・机・椅子その他事業に必要な資産性のある備品の費用) ・賃貸物件の入居資金(敷金・礼金) ・店舗や事業所の内外装費 ・Web サイト制作費用(自社HP 作成費) など 開業準備に必要な設備にかかる費用を計上してください。		自己資金	
			親族等からの借入	
			金融機関からの借入(融資)	
運転資金	(内訳) ・人件費(従業員への給与・一時金等) ・店舗や事業所の維持費 (家賃・光熱費・通信費・消耗品費など) ・商品や材料の仕入れ代金 ・広告宣伝活動費用 ・外注費 ・税金 など 経営するために定期的・継続的に必要となる費用を計上してください。 また、創業後、売り上げが伸びない場合であっても、経営を維持できるように少なくとも各々の費用の3ヶ月分は計上してください。		公的補助金・助成金等(本市補助金も含む)	
			出資等その他	
合計			合計	

5. 収支計画について

【 1 年目 】（1 カ月あたりの平均的な想定をご記入ください）

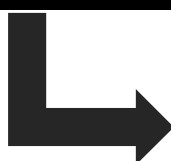
		月単位	積算根拠
①	売上高	円	
②	売上原価	円	
③	売上総利益(①-②)	円	
④	販売費及び一般管理費 (経費)	円	
内 訳	地代家賃	円	
	人件費	円	
	減価償却費	円	
	その他	円	
⑤	営業利益(③-④)	円	
⑥	営業外収益	円	
⑦	営業外損益 (支払利息等)	円	
⑧	経常利益(⑤+⑥-⑦)	円	



年間経常利益(⑧×12 カ月)
円

【 3年目 】（1 カ月あたりの平均的な想定をご記入ください）

	月単位	積算根拠
①売上高	円	
②売上原価	円	
③売上総利益(①-②)	円	
④販売費及び一般管理費 (経費)	円	
内 訳	地代家賃	円
	人件費	円
	減価償却費	円
	その他	円
⑤営業利益(③-④)	円	
⑥営業外収益	円	
⑦営業外損益 (支払利息等)	円	
⑧経常利益(⑤+⑥-⑦)	円	



年間経常利益(⑧×12 カ月)
円

6. 雇用予定について（ご自身以外に雇用する計画があれば記入願います。）

区分	1年目	2年目	3年目
正社員	人	人	人
パート・アルバイト	人	人	人

7. 事業スケジュールについて

区分	月											
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
①創業イメージの具現化												
②金融機関等との調整 （借入がある場合）												
③仕入先の調整 （仕入がある場合）												
③販売ルート構築												
④人材の確保 （雇入がある場合）												
⑤事業所の購入 又は賃貸借契約の締結												
⑥事業所の改装工事、 設備、備品等の調達												
⑦広報・販促活動 （チラシ配布等）												
⑧各種届出												
⑨												
⑩												
⑪												
⑫												

※区分欄には“月”を記載ください

※⑨以降には、創業するにあたり、必要なステップがあれば、追記してください。